

神経内科

1. 診療科紹介

当神経内科では、まず神経学的所見が確実にとれること、それが適正に評価できることを第1のステップと考え、未経験の研修医を指導します。第2のステップは病歴と神経学的所見から、診断のための適切な検査法を選ぶことです。第3のステップはそうして得られた正しい診断を個々の患者の状態にあてはめ、もっとも適当な治療法を選択することです。

教育体制 研修責任者 増田 直樹 ()
スタッフ 常勤医 1名

施設認定 日本神経学会准教育施設

2. 診療実績 (年間)

外来患者数 新患 約 1000 名
入院患者数 約 170 名

3. 研修内容

予定

1年目 経験 内科全般の研修、神経学的診察法の習得、画像診断
手技 腰椎穿刺
2年目 経験 経験症例数を増やす 学会発表
手技 筋電図、神経伝導検査
3年目 経験 臨床研究、学会発表

研修項目

◎ 神経疾患に関する診察方法

系統的な神経学的診察法を身につける
個々の疾患特有の症候を理解し、評価できる

◎ 神経疾患に関する検査方法

髄液検査を行い、その評価ができる
CT, MRI を主とする画像診断が評価できる
脳波、筋電図、神経伝導検査、誘発電位などの生理学的検査を理解し、評価
できる (できれば自ら行う)

筋生検、神経生検検査を補助し、その評価ができる

◎ 主な神経疾患の診断

脳血管障害（脳梗塞、脳出血）

神経変性疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症など）

免疫性神経疾患（ギラン・バレー症候群、多発性硬化症、重症筋無力症など）

◎ 神経疾患の治療

脳血管障害の急性期の治療ができる

脳血管障害の予後を推定し、治療方針が立てられる

看護師、リハビリテーション部と適切に連携できる

薬物療法、免疫学的治療法について理解し、実施できる

4. 週間予定

月：8:30-9:00 症例検討会、抄読会

火：15:00-16:30 病棟回診

月-金午後：神経生理学的検査（脳波、筋電図、神経伝導検査、誘発電位等）検査

5. 年間予定表

日本神経学会総会 5月頃開催

日本神経学会関東地方会 年4回開催

その他、神経生理、神経病理等の専門分野の学会がある

6. メッセージ

神経疾患に対する国民の関心は非常に高く、専門医としてやりがいのある分野です。

当科は東大病院神経内科の関連病院として機能しており、東大神経内科入局希望者の相談にも応じます。